

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共施設等サイン管理				シート番号	017-009
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観	課 評価責任者(課長名) 河合

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	都心地域や各地域拠点の活性化	無
	2	事業開始年度	平成 7 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市公共施設案内サイン整備計画、堺市公共施設案内サイン維持管理計画			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	市民や来訪者に公共施設等へのわかりやすい案内を行うため、平成8年度から平成11年度にかけて市内各地の公共施設等に関するサイン整備を行った。以降、必要に応じて修繕等の維持管理を行ってきたが、経年劣化や情報の陳腐化もあり、計画的な修繕やよりわかりやすい仕様へのリニューアルを図っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民や来訪者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	まちづくりの推進の一環として、公共施設案内サインを整備することにより、市民の生活利便を向上させる。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市公共施設案内サイン整備計画に基づく秩序ある整備の実施や、堺市公共施設案内サイン維持管理計画に基づく適切な維持管理を行うことにより、広範囲から訪れる不特定多数の人々を円滑に市内の公共施設等に誘導できるよう利便性の向上を図る。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		サイン作成業者				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	8,746	3,740	9,184	6,087	5,291	1,651	2,949	
	主な事業費内訳	委託料	千円	8,244	3,628	8,682	5,832	4,789	1,650	2,408
		修繕料	千円	500		500	255	500		523
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他()		千円								
	一般財源	千円	8,746	3,740	9,184	6,087	5,291	1,651	2,949	
12	人件費 (b)	千円	4,920	4,920	4,920	4,920	4,860	4,050	7,380	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	13,666	8,660	14,104	11,007	10,151	5,701	10,329	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	公共施設等サイン管理	シート番号	017-009
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	公共施設案内サインについて、施設名称の変更に伴い表示内容の更新等を行うとともに、北区に設置しているサインの安全点検を実施した。これらにより、サインの安全性を高めるとともに、市民や市外から訪れる方に対してわかりやすい誘導案内が可能になり、利便性の向上を図ることができた。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	サイン安全点検の実施	箇所	目標値	-	-	-	47
				実績値	51	84	31	
				達成率	-	-	-	
				評価	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		設置後の経過年数を考慮し、実施する点検の目標値を設定。(令和2年度より目標設定)					
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	サイン修繕の実施	箇所	目標値	33	4	7	1
				実績値	51	4	7	
達成率				155%	100%	100%		
評価				大変良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		平成29年度で重点整備が概ね終わっており、その後は点検結果をもとに表示修正等の修繕を行っている。						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	サイン修繕の実施	箇所	51	4	7
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,660	11,007	5,701
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	169,804	2,751,750	814,429
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
19	堺市公共施設案内サイン整備計画・堺市公共施設案内サイン維持管理計画に即し、計画的に整備・修繕を行っており、目標通りに実施することができた。また、北区に設置しているサインの安全点検を実施することにより、サインの安全性を高めることができた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	公共施設等サイン管理	シート番号	017-009
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民や市外からの来訪者など広範囲から訪れる人々に対して、市内の公共施設等への円滑な誘導を行うために必要である。また、経年劣化や情報の陳腐化を防ぐため、安全点検や施設名称等の変更への対応が必要である。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記同様。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 上記同様。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 案内サインの点検や修繕は屋外で行うものであり、3密となるものではない。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	各自治体が適切な役割分担のもと、公共施設等の案内サインの整備、維持管理を行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	引き続き、安全点検の実施や表示内容の更新など、適切に維持管理を行うことにより、市民や市外から訪れる方に対してわかりやすい誘導案内を行う。		